

松平高校の生徒が環境問題を議論しました

6月9日(土)、中日新聞社にて「あいちの未来クリエイト部」の集会があり、本校生徒が環境保全をテーマに話し合いをしました。

当日の活動は、「中日新聞 県内版 6月10日付」に掲載されました。

環境問題について話し合う生徒ら―名古屋市中区の中日新聞社で



環境保全取り組み
高校生50人が議論
名古屋で集会

県内の高校生が環境問題について考える県の学習推進事業「あいちの未来クリエイト部」の集会が九日、名古屋市中区の中日新聞社であった。

海翔高（弥富市）、豊橋東高、中部第一高（日進市）、武豊高、松平高（豊田市）の計五十人が参加した。集会では「まだ実践していない環境保全への取り組み」をテーマに、七つのグループに分かれて議論し、発表した。あるグループでは、地球温暖化について「排出量を減らすため、公共交通機関を利用したり、自転車や徒歩で移動したりしたい」とすぐに実践できる対策を説明した。

同事業では今後、学校別に環境問題に関する調査や研究を行い、その結果を基に学習教材を作るといふ。